

＜先週の説教から＞

## 『ルカ 56—見聞きしたことを伝えよ』

武田 真治 牧師

イザヤ書 35: 5~10 ルカ福音書 7: 18~23

本日の箇所は「ヨハネの弟子たちが、これらすべてのこと（＝イエス様の言動）についてヨハネに知らせた。そこでヨハネは弟子の中から二人を呼んで、主のもとに送り、こう言わせた。『来るべき方は、あなたでしょうか。それともほかの方を待たなければなりませんか？』」と始まっています。このヨハネとは、ヨルダン川でユダヤの人達に悔い改めの洗礼を授けていた、あの洗礼者ヨハネです。ただ、この時、既に領主ヘロデに捕まえられ牢獄に捕らわれていたのでした。故に、わざわざイエス様の元に弟子を送っているのでした。

しかし、かつては「私の後に来られる方は私よりも優れた方であり、私はその方の覆物のひもを解く値打ちもない」と疑うことなく、イエス様を指し示し、イエス様に洗礼を授けた人物でもありました。それなのにどうして『あなたは本当に救い主ですか？』と“迷って”しまっているのでしょうか？

考えられることは、長く牢獄に閉じ込められていたからではないかと。その彼に伝えられて来る伝聞が、どうもイエス様やその弟子たちを評価しない言葉や芳しくない話ばかりだったのではないかと。それが目を曇らせていましたのでは？

故にイエス様は、遣わされて来た弟子たちに対して『行って、見聞きしたことを（そのまま）ヨハネに伝えなさい』と命じられています。これは人々の“うわさ”や批評や考え方を通してではなく、ありのままを「見て」「聞いて」その上で自分で判断しなさいというメッセージであったのでした。本当はヨハネ自身がイエス様の元に来て、自分で見て、聞いたならばその答えは自ずと分かるはずだと。逆に言えば、人から聞いているだけで判断すると間違う、迷うということでしょう。これは私たちへの教えでもあります。自分で見て、自分で聞いたことこそ“確信となる”的ではないかと！

5章33節には「人々は言った。『ヨハネの弟子たちは度々断食し、祈りをしているが、しかし、あなた（＝イエス様）

の弟子たちは飲んだり食べたりしています』」と批判されている言葉があります。おそらくヨハネ自身も“律法を守り、祈りと断食に集中すること”が大事だと思っていたのでしょう。しかしいエス様は今日の箇所でも「そのとき、イエスは病気や苦しみや悪霊に悩んでいる多くの人々をいやしておられた」とあるように、閉じ籠って、ただ祈りや断食に徹するあり方が正しいのではなく、世に出て人々に接し、ひとり一人の苦しみや悩みを取り除いてあげることこそ“救い主＝福音を伝える者”であると示されておられたのでした。

上記の5章の場面で、イエス様は有名な『あたらしいぶどう酒は、新しい革袋に入れねばならない』と言われ、自分の在り方は今までの常識や考え方には収まらないものだと教えられたのでした。今日の場面でも、ヨハネに求められたことは《本当の救いとは？》を考えることであったのでは？

\*\*\*\*\*  
【今週の集会】

\*聖書研究・祈祷会 I. 10月 15日 (水) 20:00  
II. 10月 16日 (木) 10:30

聖書研究：ローマの信徒への手紙  
祈祷主題：教育週間・信徒伝道週間を覚えて  
担当者：(水) SY (木) YE  
祈りに覚える人：ACさん AYさん

【教勢報告】

主日礼拝 男24 女55 計 79  
祈祷会 I. 男5 女2 計 7 II. 男2 女5 計 7  
日曜学校 幼稚科7 小中科6 計 13

【次週一こどもとの合同礼拝】 10月 19日 (日)

聖書：ヨハネによる福音書 16:31～17:1  
説教：「勇気を出しなさい！」 武田 真治 牧師  
讃美歌：60(子58)、32(子27)、194(子49)、  
493(子130)、470(子114)、24(子25)

【次週当番表】

司式:SM長老 奏楽:SY 礼拝 IK 長老  
献金:FM HH 受付:IY YS  
会堂準備:KK KT TR NE  
HH HH

看板:SC 週報:YS お花:HM

【次週集会予定】

礼拝前：・聖書輪読会 ・求道者会  
礼拝後：・ラ・ルーチェによる合唱・大掃除  
・会堂管理委員会・幼稚園理事会

66 - 41

# 週報

2025年度 教会標語

「主につながり、根を張り、枝をひろげて」

2025年 10月 12日

日本キリスト教団 上尾合同教会  
牧師 武田 真治

〒362-0041 上尾市富士見2-3-33  
TEL&FAX 048-771-6549